

# 質 問

## 住民提案型きらり輝く 地域づくり事業の継続は

若月忠男 議員

町長 引き続き事業を継続していく



**問** 住民提案型「きらり輝く」地域づくり事業を、継続事業としての計画や取り組み支援、助成内容等見直しの必要もあると思うがその考えは。

**答** きらり輝く地域づくり事業については、事業開始から今年で4年目を迎えている。助成期間の限度である3年が終了した事業もある中、過去最多の採択件数となった。地域の皆様が丸となって取り組まれ、地域の一体感や活性化を生み出す結果となったものなど、大きな成果が上がっていると認識している。引き続き事業を継続していく

たいと考えている。また、助成内容の見直しについては、審査委員の方から意見をいただいております。来年度に向け、さらに積極的な参加が得られるよう検討をしていきたい。

**問** 今までに取り組みられた事業をまとめた冊子等を配布し、事業実績を奥出雲町から発信することで、普及効果がさらに高まると思うがその考えは。

**答** 本事業の取り組みなどの成果については広く町内外へ発信することで、さらなる活性化や、ひいては交流人口、定住者の増加につながると思うので、これまでの事業成果の集約やPRについては前向きに検討していく。

**問** この事業についての成果を評価した表彰制度導入の考えは。

**答** 表彰制度を導入することによって、評価に差をつけることにもなりかねないので、選定評価委員の先生方に意見を聞いてみたい。さらに今年度の事業実施分から、事業報告会等を開催することも検討したい。

**問** 地域活性化事業は今後も大切で必要な事業だと思うがその考えは。

**答** 国の財政措置等が活用できれば、事業の制度もさらに充実する可能性もあり状況を見ながら検討する。

**問** 町内においてスポーツや文化活動の合宿、研修などを行う団体や個人に対し、宿泊費の一部を助成する考えは。

**答** 本町においては、金銭的な助成の制度は設けていないが、いろんな意味での応援体制を組んでいくことは既にやっている。例えばミネラルウォーターの提供とか、お米の提供である。

**問** 助成制度の創設については、いろんな条件等を勘案しながら、ニーズや状況を見ながら検討する。

**問** 合宿誘致に対する考えは。

**答** セミナーハウスのようなものを町で持つことも含めて、受け入れ可能性をさらに拡大していくことを前向きに検討する。



事業から始まった米1グランプリ